

《解説》

一 瞥 する 七 十 余 り 事 件
On glancing over my notes of the seventy odd cases in which I have during
the last eight years studied the methods of my friend Sherlock Holmes, I
find many tragic, some comic, a large number merely strange, but none
一 般 である というのも
commonplace; for, working as he did rather for the love of his art than for
得ること、獲得 富 拒否する 関連付ける
the acquisition of wealth, he refused to associate himself with any
調 査 向かう ~ へ
investigation which did not tend towards the unusual, and even the
fantastic.

1 . On glancing “on ~ing” で “~するや否や”と意味になります。

glance とは、“ちらっと見ること”。

なので、原文の通りですと、『自分の書き溜めたメモをちらっと見るとす
ぐに、“I find many tragic...”多くの悲劇的な...事件を見つける』という
ことになります。

でも、それでは日本語としておかしいですね。ですから感覚としては、
『自分の書き溜めた大量のメモを見るたびに、過去に遭遇した異常な
事件の数々を思い出す。』といった感じですね。

“glance” を使った表現でよく出くわすのは、“at a glance” 『いち瞥^{いちべつ}
して』『一見して』。 感じとしては、じろじろと観察するまでもなくちよっと見
ればすぐに判る、といったニュアンスで使われます。

“glance”を覚えたら“glimpse”も覚えましょう。同じく“一瞥”という意
味の単語です。

(Home で戻る) ※Home は Fn + ← などで省略されている場合があります。

2 . seventy odd cases 70 余の事件。

“odd” というのは色々な意味を持つ単語です。この場合は “余り”。

70 を幾つか超えた数の事件、で『ななじゅうよ』と読みます。『ななじゅうあまり』と読みたいですが、それは正しい読み方ではありませんのでご注意を。

(Home で戻る)

3 . in which 関係代名詞で、『その中に』。“which”が示すものは直前の “seventy odd cases”です。

(Home で戻る)

4 . I have during the last eight years studied the methods of my friend Sherlock Holmes

語順がわかりにくいので並べ替えます。 during the last eight years を最後に持ってくると

I have during the last eight years studied the methods of
my friend Sherlock Holmes



I have studied the methods of my friend Sherlock Holmes
during the last eight years

私は研究してきた、方法を、私の友達であるシャーロックホームズの、～
の間、この八年。

というわけで

『この八年の間、私はホームズの手法を研究し続けてきた。』

([Home](#) で戻る)

5 . ^{た く さ ん の} a large number “large” は“大きい”。逐語訳では“一つの大きな数字の”ということで“たかさんの”という意味になります。

([Home](#) で戻る)

6 . ^{というも} for “for”というと、“～のために”と思いがちですが、『というのは』『というのも』と前に出てきた文章の説明や理由を述べるときに使用されることもあります。

([Home](#) で戻る)

7 . working as he did 『彼のやる仕事はといえば』

([Home](#) で戻る)

8 . rather for the love of his art than for the ^{得ること、獲得} love of his art than for the ^富 acquisition of wealth
“rather AAA than BBB” BBB というよりは AAA.

“love of his art” は文字通り訳せば“芸術への愛”ですが、ホームズの手懸ける、時として血生臭くもある事件の事を“芸術”と呼ぶのもどうかと思います。

得ること、獲得 富
“the acquirement of wealth”は平たく言えば“お金儲け”。

ですから、『報酬よりも、ちょっと変わった事件により興味をそそられる傾向がある』ということですね。

([Home](#) で戻る)

9 . 関連付ける
associate himself 直訳すれば『彼自身を関連付ける』となり、日本人にはピンとこないような文章になります。

最近の言い方かもしれませんが、『そんな自分が許せない』といった言い方をすることがありますよね。『自分自身を～する』というのは英語では良く出てくる表現です。

〈例〉

“He threw himself at the door.”

“彼は彼自身をドアに投げた” ⇒ “ドアに体当たりした”

([Home](#) で戻る)

10. fantastic. 某社の清涼飲料水はこの言葉に由来しています。

CMでも連呼していますよね。

“素晴らしい”“幻想的”といった意味です。

([Home](#) で戻る)